

平成 21 年 4 月 30 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18330040

研究課題名（和文） ミクロ経済分析道具の開発と教育の私的及び社会的効果の測定

研究課題名（英文） Development Of Microeconometric Tools And A Measurement Of Private And Social Return To Education

研究代表者

市村 英彦 (ICHIMURA HIDEHIKO)

東京大学・大学院経済学研究科・教授

研究者番号：50401196

研究分野：計量経済学

科研費の分科・細目：3603 経済統計学

キーワード：計量経済、ノンパラメトリクス、プログラム評価、教育の効果

1. 研究計画の概要

ミクロ計量分析一般についても、個々の具体的な分析においても、これらを実行する上で研究者はいくつかの大事な問題に直面することになる。本研究においては、そういった問題を指摘し、解決することを目的とする。具体的には次に挙げる3点の問題を解決することを考えている。

1. データが不備な場合のモデルパラメータの推定方法
2. Semiparametric 推定量の漸近分布を求める一般論
3. 教育の私的・公的效果の測定

2. 研究の進捗状況(600-800字)

Elena Martinez-Sanchis 教授との二つのデータセットを組み合わせて利用する分析手法の開発に関する共同研究については当初予想していなかった Identification に関する問題に直面したが、Binary Choice Model、Censored Tobit Model といった具体的な問題を考えることにより問題の難しさにかかなりの違いがあることが判明したので、各々の場合に分けて論文として完成させる方向で研究を進めている。

Simon Lee 教授との Semiparametric 推定量の一般的な漸近分布を導出する方法についての共同研究については研究を終了して、論文投稿を終え、審査結果を待っている。研究の途中の会話から Box-Cox モデルを一般化したモデルについての新たな研究課題を得たのでそれについて研究を現在進めている。

Semiparametric 方法の中でよく利用されるトリミング法の漸近的取り扱いを統一的行う手

法の開発を行っている。トリミングがパラメータに依存しない場合の問題は解決した。パラメータに依存する場合を考慮中である。

荒井洋一講師と従来のプログラム評価手法を拡張する方向で進めている研究を進めている。プログラム評価では通常あるトリートメントを行った場合と行わなかった場合との差をトリートメント効果と定義し、その平均値などの推定をクロスセクションのデータを用いて推定することを目指す。ここではトリートメント自体に量的側面を導入した場合について時系列データを用いて分析する問題を考え論文としてまとめた。その初期成果は2008年1月のAEAのミーティングで発表した。また時系列分析的側面で新しい結果を得たのでその点に特化した論文を用意し、2009年1月のAEAのミーティングで発表した。

Jim Powell 教授と Hyuntaik Ahn 教授と進めている計算が容易な Binary Choice Model の Semiparametric 推定量の開発は終え、そのシミュレーション分析を進めている。

教育のリターンに関する研究についてはデータの電子化を終え、データ分析を進める準備が整った。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

おおむね順調に進展しているため、今後も研究実施計画に沿って研究、論文の取りまとめを行っていく。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

Hidehiko Ichimura (共著 B.V. R. Blundell, A. Gosling, and C. Meghir) 論文名 "Changes in the Distribution of Male and Female Wages Accounting for Employment Composition Using Bounds" *Econometrica*, vol.75, 323-363, 2007

E.Leamer and J.J.Heckman 『Handbook of Econometrics』 Volume6B Part19 Chapter74 "Implementing Nonparametric and Semiparametric Estimators" **Hidehiko Ichimura**, P.Todd 共著 2007, 5369p-5468p

[学会発表](計 2 件)

HIDEHIKO ICHIMURA (共同発表 YOICHI ARAI)

"Program Evaluation with Continuous Treatment under Monotonicity Restriction" American Economic Association ASSA 2008 Annual Meeting, ニューオリンズ USA Jan.2008

HIDEHIKO ICHIMURA (共同発表 YOICHI ARAI)

"How to Account For the Dependence Structure For the Kernel Density Estimator?" American Economic Association ASSA 2009 Annual Meeting, サンフランシスコ CA, USA, Jan.2009

[図書](計 1 件)

Ernst R. Berndt and Charles R. Hulten 編著
Chicago University Press 発行

書名「Hard-to-Measure Goods and Services」中の論文

"What Really Happened to Consumption Inequality in the United States?"

Orazio Attanasio, Erich Battistin, **Hidehiko Ichimura** 共著 2007 pp 515-543

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

[その他] 特になし